

THE S.P ECO NEWS

☆☆夏号☆☆

『今日から貴方も
ECOしちゃおう?』

今回のECO情報
「チームマイナス6%ってなあに?」

隅田商事は「チーム・マイナス6%」に参加しました。これは1990年のCo2などの温室効果ガス排出量を基準として、6%の削減を目指すという京都議定書※に基づく地球温暖化防止の国民運動で、私達一人ひとりが温室効果ガスの削減に向けて努めるというものです。4月現在で13000団体、個人では120万人が参加しており、国民全体規模の大きなムーブメントになりつつあります。

では、温室効果ガスを減らすために私達は何か出来るのでしょうか？それは例えば、冷房の温度設定を28℃、暖房を20℃に設定することや、使用していない家電はコンセントから抜くことです。温度設定をするだけで、一世帯あたりでは年間約31kgのCo2削減ができて、電気料金も2000円の節約になると言われています。このように小さな心がけから大きな効果が生まれるのです。

皆さんも周りを見渡して、できることからエコしませんか？

(※京都議定書：1997年12月京都で開催された気候変動枠組条約第3回締約国会議で採択された議定書。先進国は2008年から2012年の約束期間に於ける温室効果ガスの削減数値目標を定めた。日本6%、EU8%、アメリカ7%となっているが、アメリカは批准していない。)



「ISO14001 更新審査終わる…」

更新審査は6月18日と19日に実施されました。当初から更新審査は相当厳しいとの風評が立ち、各部門を代表する環境委員は緊張した面持ちでした。日頃から環境活動に自信を持って取り組んできた彼等でしたが、いざ審査員達を前にすると更に緊張感が高まったようです。今回の審査に臨んだ委員は、今年より担当となったばかりで、動揺や不安は当然と言えます。しかし、実際に審査が始まると、いつものように堂々と対応し、滞り無く審査を終えました。

最終的な更新の決定は7月下旬ですが、審査結果を先に述べるならば、2件の改善事項のみといった、当初の予想を遥かに下回る件数でした。指摘を受けたのは、食品事業本部の目標未達成の分析と改善策の欠如と、虎ノ門ピアザビルでビル管理法に於ける粉塵調査を実施していなかったことです。どちらも既に解決しており、その後も問題は発生していません。また、今回の審査では、長所としての評価も多く挙げられました。中でも本石町エコSSが資源エネルギー庁長官賞地域貢献部門を受賞したことに、審査員は絶賛しておりました。また、毎年実施しているジャガイモコンペやフェアトレードの認識、ペットボトルキャップによるワクチン普及活動など、社員の環境に対する意識が、取得時よりも高まっているとの評価も戴きました。これらの評価は、私達が取り組んできたことを自己肯定するきっかけとなるでしょう。

しかしながら、手放しで喜んではいられません。トップインタビューで社長は、私達の環境活動への評価点として70点を付けられました。この点数は及第点ではあるものの、減点の30点は改善の余地が大いにありと受け止める必要があります。減点の理由として最も強調されたのは、指示事項が迅速に伝達されず、実施もされていないことに対する歯痒さと憤りでした。反対に評価を戴いた点は、環境への意識が高まったことでした。

私達は今回の審査での指摘事項を真摯に受け止め、改善すべきは改善し、良い評価は今後も発展させて、社長が言われる環境経営の更なる強化に努めると決意しましょう。

「二日酔い?」

ジャガイモ生産コンペは5回を迎えた。優勝は2年連続で石油事業本部が勝ち取った。

ところで、身近な食材ジャガイモの品種の一つであるメークインの歴史は古く、中世ヨーロッパで春の村祭の、女王にちなんで「5月祭の女王」(May - Queen)と名付けられたと言われている。

煮崩れが少なく煮物に適しているが、ヨーロッパの自然療法では、胃潰瘍の治療薬として生のまま搾ったジュースを飲むらしい……。

その二日酔いの。さん！一度試してみらん！